

## 平成30年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	警防課
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	実施計画事業費	<b>内線</b>	3781
<b>事務事業名</b>	4338 消防機械力整備事業						
<b>所 属</b>	450100 消防本部・消防本部・消防署						
<b>施 策</b>	03021400 消防・救急体制の充実						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	090101 消防費・消防費・常備消防費					
	<b>事業</b>	030000 消防機械力整備事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
消防車両及び資機材等の計画的な整備・更新を行い、消防力の充実強化を図る				経年機能低下する消防車両・資機材等の更新及び充実強化			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
ポンプ2号車の更新	化学車（平成7年購入）の更新 水槽車（平成8年購入）の更新 はしご車性能検査
<b>平成29年度 実績</b>	<b>平成30年度 予定</b>
高圧空気充填機 水槽付消防ポンプ車の更新	救急3号車の更新
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>
救急1号車の更新	

指標名	出火率の減少				
算式	-				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	-				
最終年度目標の根拠	-				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		38,517	43,301
特定財源	国庫支出金	10,486	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	9,700
	その他	25,372	0
一般財源		2,659	33,601
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,574.5	3,574.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,574.5	3,574.5
市民一人当たりの経費		0.8	0.9
総額		42,091.5	46,875.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	38,517	手数料10、保険料9、車両購入費34,236、充填機4,244、重量税18

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	43,301	手数料59、保険料9、車両購入費43,200、重量税33

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	管轄する市町村の区域における消防の責任を十分に果たすため、消防機械力を更新し、消防力の向上に重要 消防力の整備指針に基づいた整備更新	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	経年劣化により性能低下する車両を更新し、消防力の維持向上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	有利な補助事業等を活用し、財源確保に努めている	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

最新型の機器を導入し、より高度な消防・救急活動に努め、質の高い住民サービスを提供  
財源確保のため、有利な補助事業等の知識を深め、活用とするための情報収集に努める

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

- ・年度早期に入札を実施し計画どおり遂行している

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

消防組織法の規定に基づき、市は消防設備、施設の整備義務があることから、計画的に機械力の更新整備を継続する。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--